



## 平成26事業年度財務報告書





## 目 次

|           |                         |    |
|-----------|-------------------------|----|
| I         | 財務報告書をご覧のみなさまへ<br>ごあいさつ | 1  |
| 茨城大学の財務状況 |                         |    |
| II        | 財務諸表                    |    |
|           | ・平成26事業年度 貸借対照表         | 2  |
|           | ・平成26事業年度 損益計算書         | 3  |
| III       | 教育・学生支援関係               | 4  |
| IV        | 研究関係                    | 5  |
| V         | 業務運営、地域貢献関係             | 6  |
| VI        | 施設整備関係                  | 7  |
| VII       | 収入関係                    | 8  |
| VIII      | 過去5年間の財務情報の推移           | 9  |
| IX        | 財務指標                    | 10 |

## I 財務報告書をご覧のみなさまへ

ごあいさつ



国立大学法人茨城大学  
理事(総務・財務担当)  
袖山 禎之

茨城大学の教育研究活動に対しまして、日頃より温かいご理解とご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

本学は、先端科学技術関連の研究や産業の拠点の一つである首都圏北部、また全国第二位の生産高を誇る農業県に立地する特色等を生かし、「地域創生の知の拠点となる大学、その中で世界的な強み・特色の輝く大学の構築」をミッションとして掲げ、優れた人材を輩出し、科学技術や社会的課題に関する新たな知的成果を生み出し、産業及び社会のイノベーションをリードするとともに、卓越した教育研究の実践により、茨城の高い地域ポテンシャルを顕在化させ、地域力を生み出す役割を担うことを目指して運営に取り組んでいます。

さて、平成26事業年度の財務諸表は、平成27年8月31日付けで文部科学大臣より承認されました。本報告書は、本学の財務状態、運営状況を示した財務諸表の内容を、ステークホルダーの皆様に対し分かりやすくお伝えすることを目的として作成しています。

国から措置される運営費交付金は年々削減されるなど、本学の財務状況は年々厳しいものとなっておりますが、一層の財務基盤の充実・強化を図り、業務の健全化・効率化を図りながら、目的の達成に向け努力してまいりますので、今後ともご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## Ⅱ 財務諸表

### 平成26事業年度 貸借対照表(資産・負債・純資産の状況)

「貸借対照表」は、会計年度末における財政状態を明らかにするため、全ての資産、負債及び純資産を記載したものです。  
平成26事業年度末における資産は49,389百万円（対前年度比△2,280百万円）、負債は9,760百万円（同△1,687百万円）、純資産は39,628百万円（同△593百万円）となっています。

#### 貸借対照表（平成27年3月31日）

(百万円)

|             | 25年度          | 26年度          | 増減            |                 | 25年度          | 26年度          | 増減            |
|-------------|---------------|---------------|---------------|-----------------|---------------|---------------|---------------|
| <b>資産の部</b> |               |               |               | <b>負債の部</b>     | 11,447        | 9,760         | △1,687        |
| (固定資産)      | 47,310        | 46,563        | △747          | 資産見返負債          | 6,815         | 6,791         | △24           |
| 土地          | 22,610        | 22,600        | △10           | 未払金             | 2,308         | 1,767         | △541          |
| 建物等         | 18,041        | 17,844        | △197          | 運営費交付金債務        | 1,191         | 457           | △734          |
| 設備          | 1,777         | 1,457         | △320          | 寄附金債務           | 346           | 330           | △16           |
| 図書          | 4,465         | 4,459         | △6            | その他負債           | 785           | 413           | △372          |
| その他固定資産     | 415           | 200           | △215          |                 |               |               |               |
| (流動資産)      | 4,358         | 2,826         | △1,532        | <b>純資産の部</b>    | 40,221        | 39,628        | △593          |
| 現預金         | 3,571         | 2,270         | △1,301        | 資本金             | 38,833        | 38,828        | △5            |
| 有価証券        | 300           | 300           | 0             | 資本剰余金           | 679           | 40            | △639          |
| その他流動資産     | 486           | 255           | △231          | 利益剰余金           | 707           | 759           | 52            |
| <b>資産合計</b> | <b>51,669</b> | <b>49,389</b> | <b>△2,280</b> | <b>負債・純資産合計</b> | <b>51,669</b> | <b>49,389</b> | <b>△2,280</b> |

(端数整理の関係で合計は必ずしも一致しません。)

#### 主な増減内容

##### 資産の部

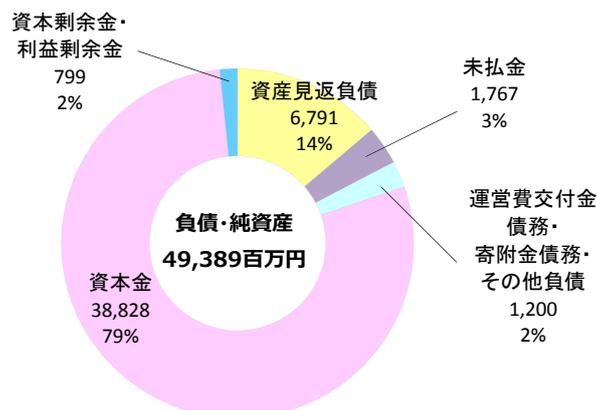
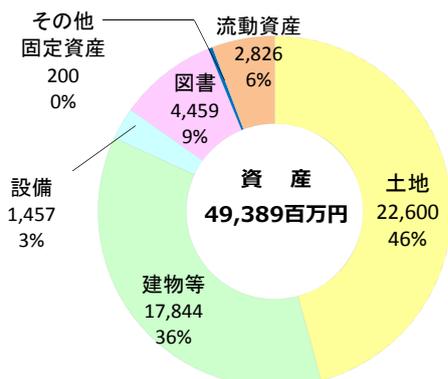
- ①土地：22,600百万円（△10百万円）  
附属小学校の土地の一部（222㎡）を水戸市へ売却
- ②建物等：17,844百万円（△197百万円）  
資産取得により+762百万円  
（工学部N2・N6棟、太陽光発電設備等）  
経年劣化に伴う減価償却等により△959百万円
- ③設備：1,457百万円（△320百万円）  
資産取得により+520百万円  
（キュービックアンビル型高圧合成装置等）  
経年劣化に伴う減価償却等により△840百万円
- ④現預金：2,270百万円（△1,301百万円）  
施設改修などの大型工事が竣工したことに伴う支払等により△1,301百万円  
（工学部N2・N6棟、図書館（平成25年度末竣工）等）

##### 負債の部

- ①資産見返負債：6,791百万円（△24百万円）  
資産取得により+841百万円  
（太陽光発電設備、キュービックアンビル型高圧合成装置等）  
経年劣化に伴う減価償却等により△865百万円
- ②未払金：1,767百万円（△541百万円）  
予算の早期執行に努めたことにより未払金が減少
- ③運営費交付金債務：457百万円（△734百万円）  
運営費交付金を財源とした復興関連事業などの執行が進んだことにより、運営費交付金債務が△734百万円

##### 純資産の部

- ①資本剰余金：40百万円（△639百万円）  
資産取得により+429百万円（工学部N2・N6棟等）  
建物等の損益外減価償却等により△1,068百万円



## 平成26事業年度 損益計算書(費用・収益の状況)

「損益計算書」は、財務運営状況を明らかにするため、一会計期間に属する本学の全ての費用と収益を記載して、当期総利益を表示したものです。

平成26事業年度中の経常費用は13,736百万円(対前年度比+580百万円)、経常収益は14,063百万円(同+928百万円)であり、経常利益は327百万円(同+348百万円)となっています。経常利益に臨時損益を加えた当期総利益は51百万円(対前年度比+36百万円)となっています。

### 損益計算書(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(百万円)

|              | 25年度          | 26年度          | 増減         |
|--------------|---------------|---------------|------------|
| 人件費          | 8,336         | 9,193         | 857        |
| 教育・研究等経費     | 3,163         | 3,077         | △86        |
| 受託研究・受託事業費   | 780           | 794           | 14         |
| 一般管理費        | 857           | 661           | △196       |
| 財務費用         | 6             | 4             | △2         |
| 雑損           | 12            | 5             | △7         |
| <b>経常費用</b>  | <b>13,156</b> | <b>13,736</b> | <b>580</b> |
| 臨時損失         | 10            | 391           | 381        |
| <b>当期総利益</b> | <b>15</b>     | <b>51</b>     | <b>36</b>  |
| 計            | 13,183        | 14,178        | 995        |

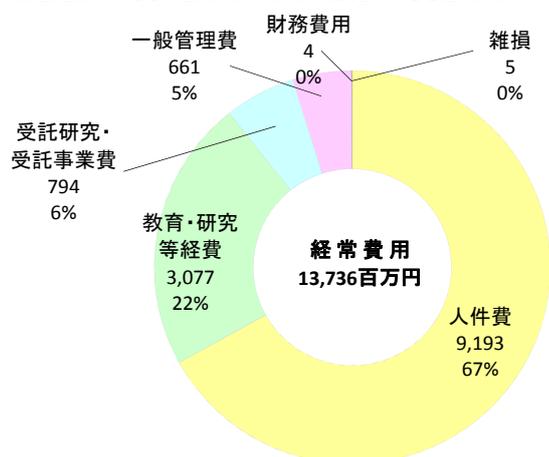
|             | 25年度          | 26年度          | 増減         |
|-------------|---------------|---------------|------------|
| 運営費交付金収益    | 5,925         | 6,985         | 1,060      |
| 学生納付金収益     | 5,028         | 5,004         | △24        |
| 外部資金収益      | 957           | 979           | 22         |
| 雑益          | 335           | 323           | △12        |
| その他収益       | 888           | 770           | △118       |
| <b>経常収益</b> | <b>13,135</b> | <b>14,063</b> | <b>928</b> |
| 臨時利益        | 11            | 115           | 104        |
| 目的積立金取崩額    | 36            | —             | △36        |
| 計           | 13,183        | 14,178        | 995        |

(端数整理の関係で合計は必ずしも一致しません。)

### 主な増減内容

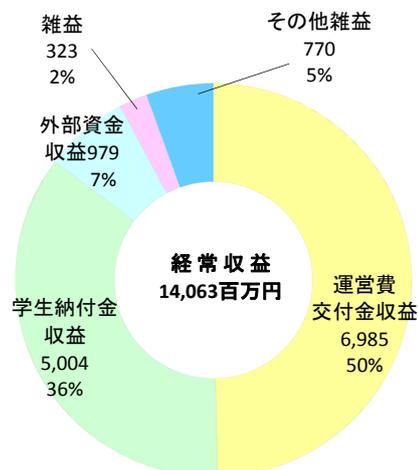
#### 経常費用の部

- ①教育経費：1,673百万円(対前年度比+170百万円)  
学生寄宿舎や教育学部D棟講義室等の改修等修繕費の増加
- ②研究経費：924百万円(対前年度比△58百万円)  
研究設備の更新が、経年劣化に伴う減価償却に比較して遅れていることによる減
- ③教育研究支援経費：479百万円(対前年度比△198百万円)  
昨年度は図書館改修のため費用が一時的に増加していたが、平成26年度より例年並みに戻ったことによる減
- ④受託研究費等：794百万円(対前年度比+14百万円)  
獲得努力により受入額が増加した受託研究において、研究が進められたことによる増
- ⑤人件費：9,193百万円(対前年度比+857百万円)  
給与改定臨時特例法に関連した給与減額期間(H24～25)の終了に伴う増
- ⑥一般管理費：661百万円(対前年度比△196百万円)



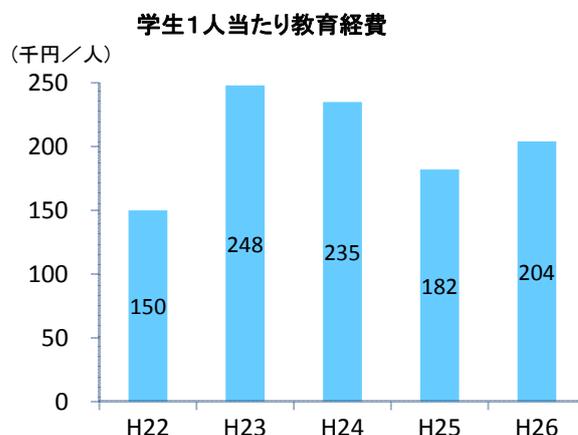
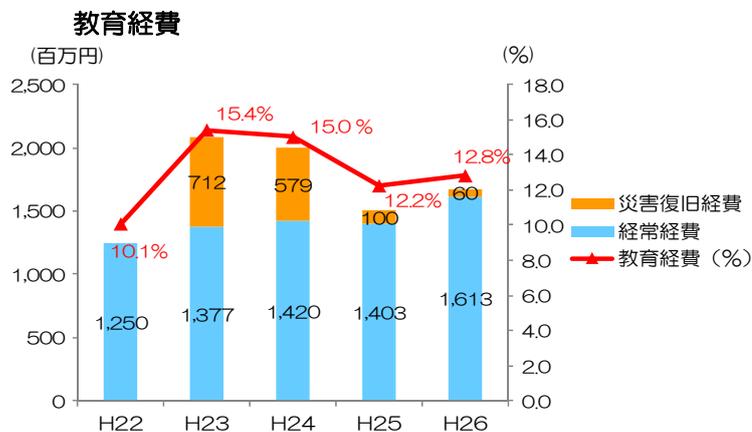
#### 経常収益の部

- ①運営費交付金収益：6,985百万円(対前年度比+1,060百万円)  
復興関連事業や工学部N2棟・N6棟の改修等に伴う増
  - ②学生納付金収益：5,004百万円(対前年度比△24百万円)  
入学金、検定料は増加、授業料は減少。全体として減
  - ③外部資金収益  
受託研究収益：715百万円(対前年度比+21百万円)  
受託事業収益：79百万円(対前年度比△6百万円)  
寄付金収益：152百万円(対前年度2百万円)  
補助金収益：33百万円(対前年度△5百万円)
- ※大型プロジェクトの進行及び外部資金獲得努力により経常収益は増加



### Ⅲ 教育・学生支援関係

平成26事業年度の教育経費は1,673百万円（対前年度比+170百万円）、教育経費比率（教育経費÷業務費）は12.8%（対前年度比+0.6ポイント）、学生1人当たりの教育経費（教育経費÷学生数）は204千円/人（対前年度比+22千円/人）となっています。



#### 【教育・学生支援関係で実施した主な事項】

① 平成26年度文部科学省「地（知）の拠点整備事業（大学COC事業）」採択

- ・事業の採択を受け、COC統括機構を設置し、地域課題に取り組む地域PBL教育体制を整備するなど様々な教育支援事業を実施しました。
- ・大学の活動などを広く地域の方と共有するため「土曜アカデミー」を開催しました。
- ・COC事業への理解を図るため、本学教職員、学生等に対する説明会、FD・SDを開催しました。



▲土曜アカデミー「登場！桓武平氏－高望王、関東下向の真実－」

② 学生懇談会「学長と語ろう！」開催

- ・学生から寄せられる意見や要望等を今後の大学運営に活かしていくため、学長と学生が直接意見を交換する形で懇談会を実施しました。

③ 茨城県教育委員会と教職大学院に関する協定書締結

- ・平成28年度の教職大学院設置に向け、カリキュラムや実習の在り方の検討など、茨城県教育委員会と組織的に取り組むため協定を締結しました。



▲高大接続改革シンポジウム（前川文部科学審議官による講演ほか）

④ 高大接続改革シンポジウムの開催

- ・中教審答申「新しい時代にふさわしい高大接続の実現に向けた高等学校教育、大学教育、大学入学者選抜の一体的改革について」及び「高大接続改革実行プラン」を受け、改革に向けた課題について、高等学校関係者と大学関係者が共通理解するため、シンポジウムを開催しました。

⑤ 教員を対象とした英語研修会の実施

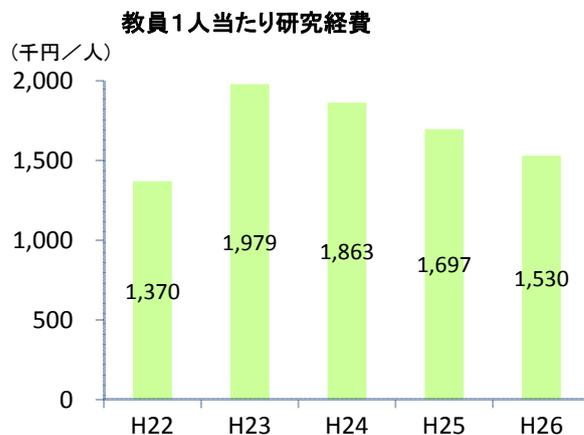
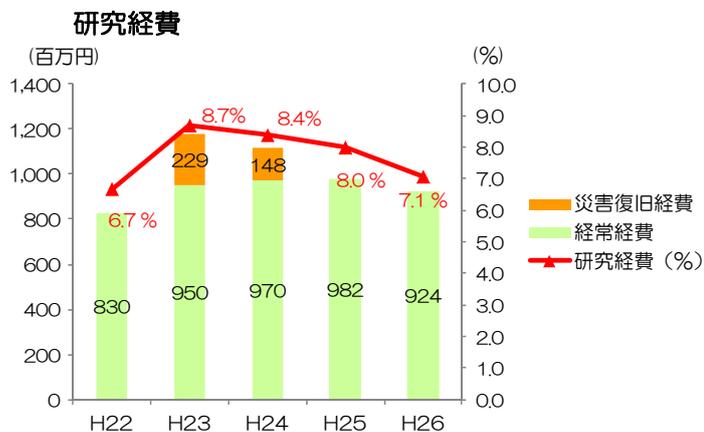
- ・英語教育の充実のため、教員を対象とした英語で教授する方法に関する研修会を実施しました。



▲教員を対象とした英語研修会

## IV 研究 関 係

平成26事業年度の研究経費は924百万円（対前年度比△58百万円）、研究経費比率（教育経費÷業務費）は7.1%（対前年度比△0.9ポイント）、教員1人当たりの研究経費（研究経費÷教員数）は1,530千円/人（対前年度比△167千円/人）となっています。



### 【研究関係で実施した主な事項】

#### ① 国連「IPCC」第2作業部会共同議長による国際講演会開催

- ・国連の「気候変動に関する政府間パネル(IPCC)」第2作業部会共同議長であるクリストファー・フィールド博士による国際講演会を開催し、気候変動の影響と適応策、さらに緩和策について、2014年に公表されたIPCC第5次評価報告書に基づく最新の科学的知見を紹介しました。



▲クリストファー・フィールド氏と三村学長

#### ② 農医連携プロジェクトの成果

- ・「茨城大学農医連携プロジェクト」では、東京医科大学茨城医療センター、茨城県立医療大学と連携し、地域農産物の健康機能性の探索を行い、果実の果皮に抗肥満効果があることを明らかにしました。



▲国際講演会

#### ③ URAと国際コーディネーターの採用

- ・URA（ユニバーシティ・リサーチ・アドミニストレーター）、国際コーディネーターを採用し、外部資金獲得増のため、研究支援体制及び国際共同研究を推進できる体制を整備しました。

#### ④ キュービックアンビル型高圧合成装置を導入（理学部）

- ・本装置は、物質科学分野で有用な機能を有する新物質を開発し、各種の物性評価のために使用する装置であり、昨今の社会問題である電力不足を根本から改善する機能物性の発見も大いに期待できます。
- ・材料作成から評価までの一連の作業を学生主体で行うことにより、高い科学技術スキルを持った専門技術者及び研究者の育成に寄与します。



▲キュービックアンビル型高圧合成装置

## V 業務運営、地域貢献関係

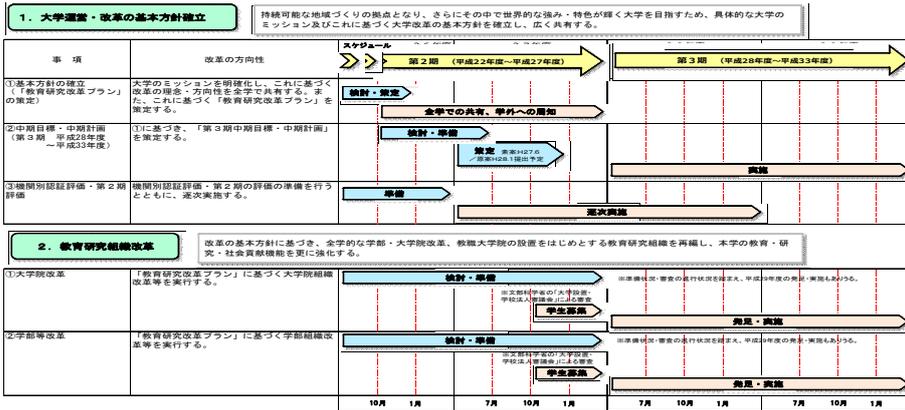
平成26事業年度では、「茨城大学改革アクション・プログラム」の策定や、大学戦略・IR室の設置により、業務運営の改善、効率化に努めました。また、「いばらき地域づくり大学・高専コンソーシアム」を設立するなど、地域との連携をより一層強化しています。施設整備については、本年度実施した主なものを次ページに掲載しています。

### 【業務運営について実施した主な事項】

#### ① 「茨城大学改革アクション・プログラム」の策定

- ・教育改革と教育研究組織再編、ガバナンス改革をパッケージにした包括的な改革を着実かつスピード感をもって進めるため、「大学改革アクション・プログラム」を策定しました。

茨城大学改革アクション・プログラム<工程表>



#### ② 「大学戦略・IR室」を設置

- ・IR（インスティテューショナル・リサーチ）等に基づく今後の大学運営の戦略を機動的に構築するために、「大学戦略・IR室」を設置しました。

### 【地域貢献について実施した主な事項】

#### ① 「いばらき地域づくり大学・高専コンソーシアム」を設立

- ・茨城キリスト教大学、茨城工業高等専門学校、常磐大学と連携し、「まち・ひと・しごと創生法」の施行に伴い、茨城県に所在する大学・高専が関係を深め、茨城県、県内市町村並びに産業界等と連携・協同して地域の振興に寄与し、「いばらき」の発展に資するため、「いばらき地域づくり大学・高専コンソーシアム」を設立しました。



#### ② 人文学部における地域連携活動

- ・人文学部・市民共創教育研究センターでは、人文学部と円卓会議協定を締結している自治体を中心に共創活動としての各種シンポジウムやイベントの開催を通じて、地域のニーズを吸い上げ地域活性化に貢献しました。



▲「茨城学」の講義

#### ③ 「茨城学」開講のための体制整備

- ・平成27年度からは初年次の全学生が必修となる、地域志向教育プログラムの一つである「茨城学」を開講することとしており、平成26年度にはその実施体制を整備しました。

#### ④ 茨城県北ジオパークの活動

- ・本学の茨城県北ジオパーク事業では、インタープリター（ガイド）養成講座の開講と、「地質情報活用プロジェクト」を推進し、ジオツアー等を実施しました。



▲インタープリター養成講座での実地研修

## VI 施設整備関係

### 【施設整備関係で実施した主な事項】

- 工学部N2棟・N6棟改修  
(平成26年5月竣工)



- 教育学部D棟講義室改修  
(平成26年9月竣工)



- 大規模災害等緊急時に備えた整備  
(平成26年12月竣工)



太陽光発電設備（大学会館屋上ほか）



災害時用トイレ（津田団地ほか）



津波対策のための避難路確保  
(五浦美術文化研究所避難路)

- 中成沢武道場（日立キャンパス）改築  
(平成26年12月竣工)



- 附属中学校グランドバックネット改修  
(平成27年2月竣工)



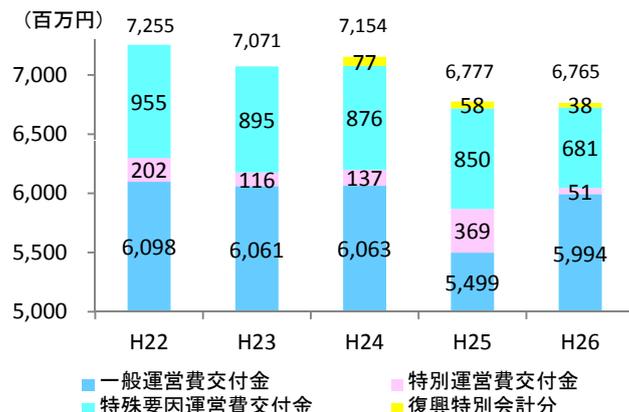
## Ⅶ 収入関係

### 【運営費交付金について】

平成26年度の運営費交付金は、6,765百万円（対前年度比△12百万円）です。主な増減要因は、以下のとおりです。

- ・一般運営費交付金+495百万円  
（給与改定臨時特例法に基づく減額措置終了による+535百万円など）
- ・特別運営費交付金△318百万円  
（H25限りの復興関連事業分△276百万円など）
- ・特殊要因経費△169百万円  
（退職手当△84百万円、建物新営設備費△75百万円など）
- ・復興特別会計分△20百万円

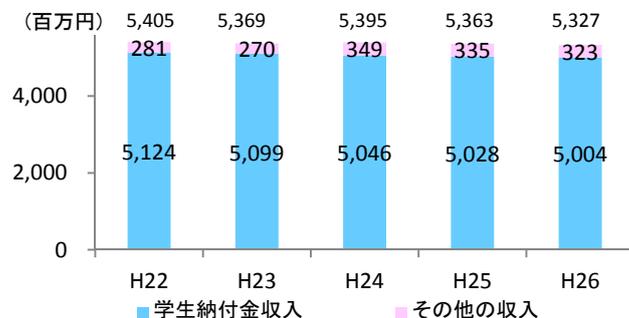
一般運営費交付金は、大学改革促進係数を乗じた額が減額されており、平成26年度は△50百万円となっています。



### 【自己収入について】

本学の自己収入は、学生納付金収入（授業料、入学料、検定料）とその他の収入（研究関連収入、財産貸付料収入など）であり、平成26年度の自己収入は、5,327百万円（対前年度比△36百万円）です。

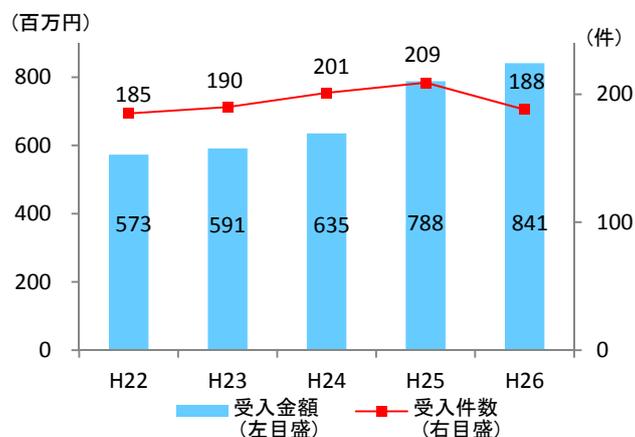
学生の経済的支援の充実のため、授業料等の免除を拡大していることから、学生納付金収入はやや減少しています。



### 【受託研究等収入について】

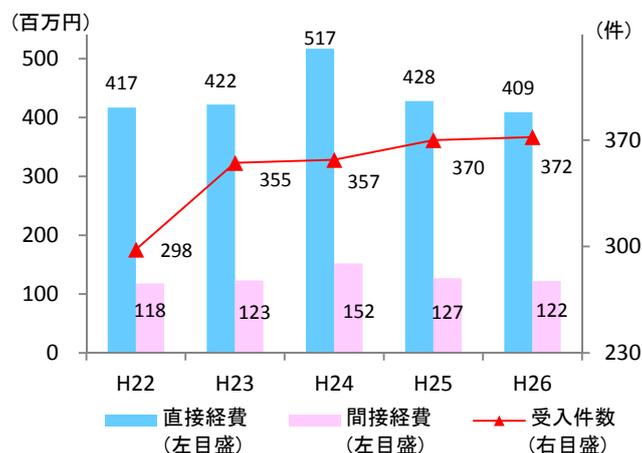
受託研究費等の受入額はここ数年増加していますが、このうち民間企業からの受入が金額・件数共にやや減少しています。

企業の課題を本学が共通して取り組む共同研究の受入増加は、本学研究活動の推進、地域の発展につながることから、より企業が活用しやすいような取組みが求められています。

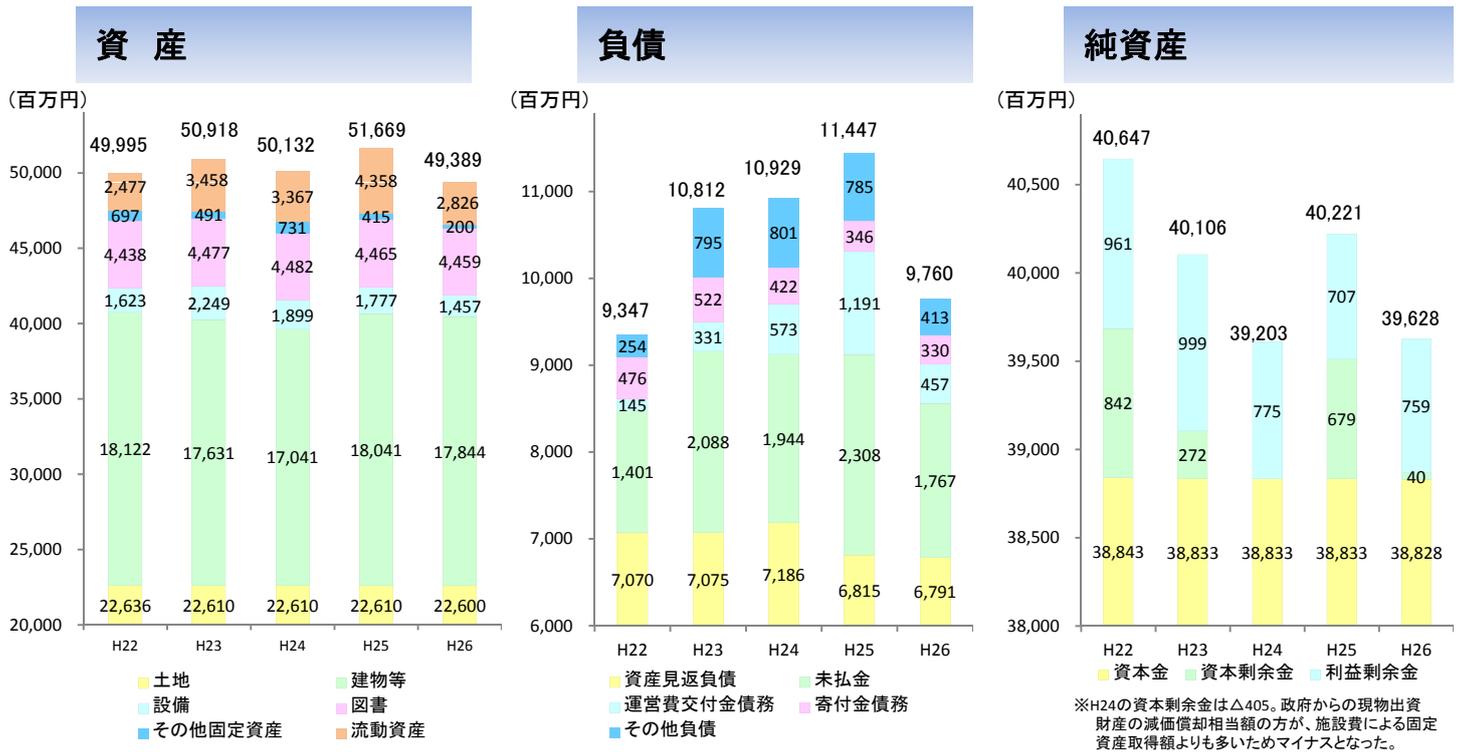


### 【科学研究費補助金等受入について】

ここ数年実施している科研費獲得のための説明会実施などにより受入件数は増加していますが、受入金額はやや減少しています。

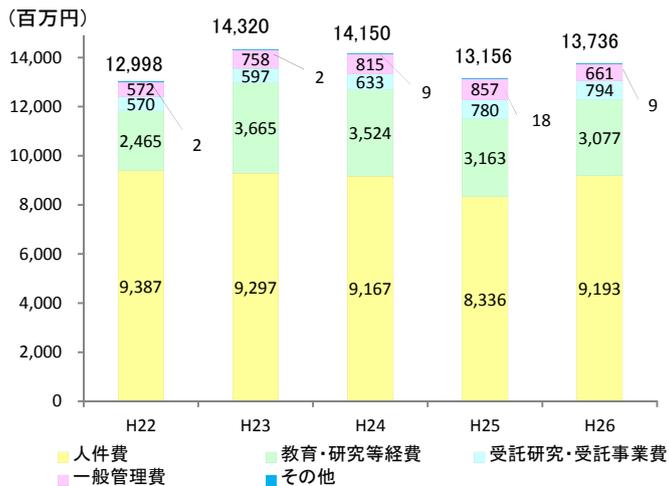


## Ⅷ 過去5年間の財務情報の推移

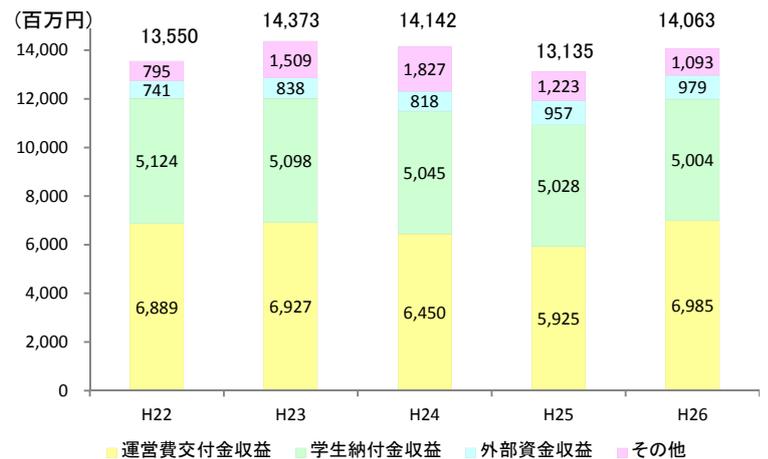


「その他固定資産」は、主に、美術品・收藏品、車両運搬具、ソフトウェアです。  
 「流動資産」は、主に、現金及び預金、有価証券です。  
 「その他負債」は、主に、「電子計算機ネットワークシステム」などのリース債務、前受受託研究費です。

### 経常費用



### 経常収益



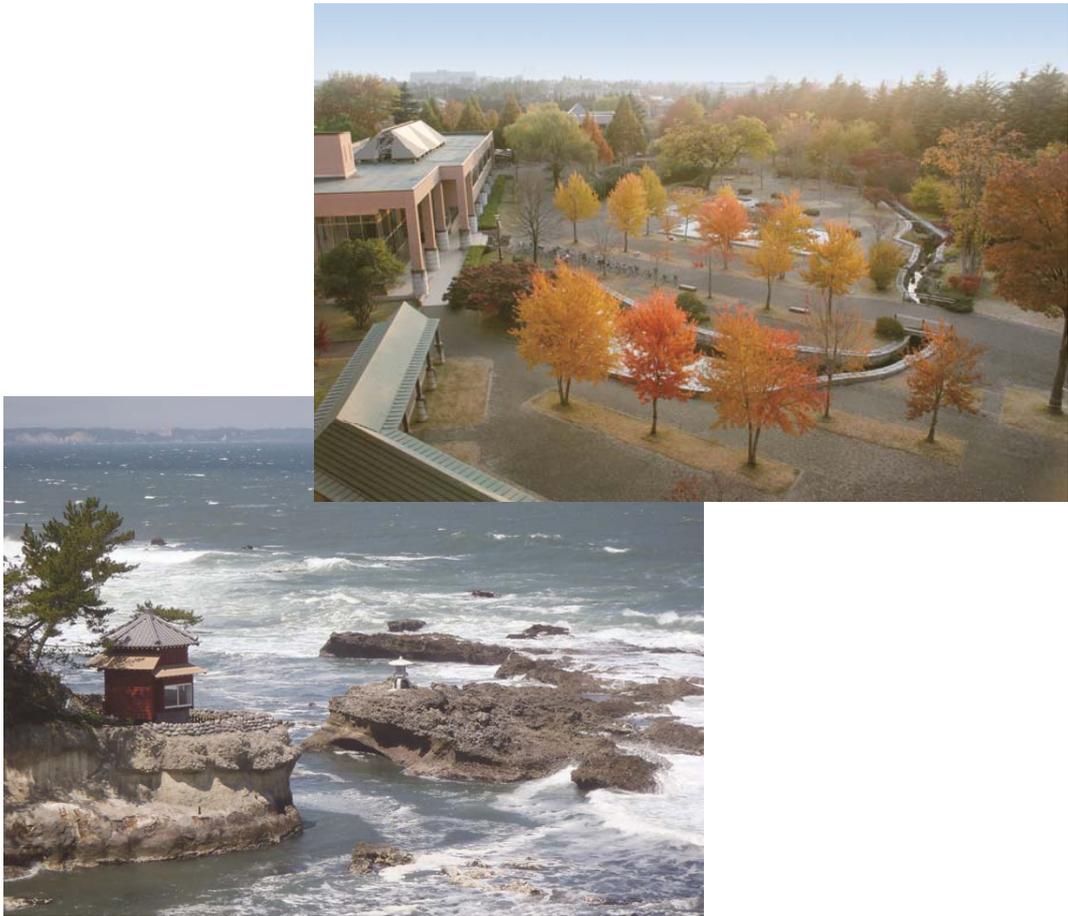
【経常費用】「その他」は、財務費用（為替差損、支払利息）、雑損（補助金の返還など）です。  
 【経常収益】「その他」は、主に、資産見返負債戻入、財産貸付料収入です。

# Ⅹ 財務指標

## 過去3年間の推移

(単位：百万円)

| 財務指標   |   |         | 24年度           | 25年度           | 26年度           |
|--|---|---------|----------------|----------------|----------------|
| 内容   | 計算式   | 項目      |                |                |                |
| <b>流動比率</b>  |   |         | <b>97.4%</b>   | <b>97.2%</b>   | <b>96.2%</b>   |
| 短期的な支払能力を示す指標であり、一般的には100%を超えていれば支払上問題ない状態とされています          | 流動資産÷流動負債                                   | 流動資産    | 3,367          | 4,358          | 2,826          |
|  |   | 流動負債    | 3,456          | 4,484          | 2,937          |
| <b>自己資本比率</b>  |   |         | <b>78.2%</b>   | <b>77.8%</b>   | <b>80.2%</b>   |
| 総資産に対する自己資本の割合を示す指標であり、比率が高いほど健全性が高いとされています                | 自己資本÷<br>(負債+自己資本)                          | 自己資本    | 39,203         | 40,221         | 39,628         |
|  |   | 負債      | 10,929         | 11,447         | 9,760          |
|  |   | 自己資本+負債 | 50,132         | 51,669         | 49,389         |
| <b>人件費比率</b>   |   |         | <b>68.8%</b>   | <b>67.9%</b>   | <b>70.4%</b>   |
| 業務費に占める人件費の割合を示す指標であり、比率が低いほど効率性が高いとされています                 | 人件費÷業務費                                     | 人件費     | 9,167          | 8,336          | 9,193          |
|  |   | 業務費     | 13,325         | 12,280         | 13,065         |
| <b>一般管理費比率</b>   |   |         | <b>6.1%</b>    | <b>7.0%</b>    | <b>5.1%</b>    |
| 業務費に占める一般管理費の割合を示す指標であり、比率が低いほど効率性が高いとされています               | 一般管理費÷業務費                                   | 一般管理費   | 815            | 857            | 661            |
|  |   | 業務費     | 13,325         | 12,280         | 13,065         |
| <b>外部資金比率</b>  |   |         | <b>5.6%</b>    | <b>7.1%</b>    | <b>6.7%</b>    |
| 経常収益に占める外部資金の割合を示す指標であり、比率が高いほど外部資金の受入れが拡大していることとなります      | (受託研究等収益<br>+ 受託事業等収益<br>+ 寄附金収益)<br>÷ 経常収益 | 外部資金    | 794            | 929            | 946            |
|  |   | 受託研究等収益 | 551            | 694            | 715            |
|  |   | 受託事業等収益 | 81             | 85             | 79             |
|  |   | 寄附金収益   | 162            | 150            | 152            |
|  |   | 経常収益    | 14,142         | 13,135         | 14,063         |
| <b>業務費対教育経費比率</b>  |   |         | <b>15.0%</b>   | <b>12.2%</b>   | <b>12.8%</b>   |
| 業務活動のうち、教育に使用される経費の大きさを示す指標です。なお、教育経費には人件費は含まれていません        | 教育経費÷業務費                                    | 教育経費    | 1,999          | 1,503          | 1,673          |
|  |   | 業務費     | 13,325         | 12,280         | 13,065         |
| <b>業務費対研究経費比率</b>  |   |         | <b>8.4%</b>    | <b>8.0%</b>    | <b>7.1%</b>    |
| 業務活動のうち、研究に使用される経費の大きさを示す指標です。なお、研究経費には人件費、受託研究費等は含まれていません | 研究経費÷業務費                                    | 研究経費    | 1,118          | 982            | 924            |
|  |   | 業務費     | 13,325         | 12,280         | 13,065         |
| <b>学生当教育経費 (千円)</b>  |   |         | <b>235千円</b>   | <b>182千円</b>   | <b>204千円</b>   |
| 学生1人当たりの教育経費を示す指標であり、この数値が高いほど学生1人当たりにかけられた教育経費が大きいことを示します | 教育経費÷学生数                                    | 教育経費    | 1,999          | 1,503          | 1,673          |
|  |   | 学生数(人)  | 8,500          | 8,249          | 8,182          |
|  |   | 学部学生    | 7,157          | 7,138          | 7,112          |
|  |   | 修士課程    | 1,217          | 974            | 933            |
|  |   | 博士課程    | 126            | 137            | 137            |
| <b>教員当研究経費 (千円)</b>  |   |         | <b>1,863千円</b> | <b>1,697千円</b> | <b>1,530千円</b> |
| 教員1人当たりの研究経費を示す指標であり、この数値が高いほど教員1人当たりにかけられた研究経費が大きいことを示します | 研究経費÷教員数                                    | 研究経費    | 1,118          | 982            | 924            |
|  |   | 教員数(人)  | 600            | 579            | 604            |
| <b>経常利益比率</b>  |   |         | <b>△0.1%</b>   | <b>△0.2%</b>   | <b>2.3%</b>    |
| 経常収益に対する経常利益の割合を示す指標であり、この比率が高いほど収益力が高いこととなります             | 経常利益÷経常収益                                   | 経常利益    | △ 8            | △ 21           | 327            |
|  |   | 経常収益    | 14,142         | 13,135         | 14,063         |



国立大学法人茨城大学 平成26事業年度財務報告書

---

平成27年10月発行

発行 国立大学法人茨城大学財務部  
〒310-8512  
茨城県水戸市文京2-1-1

照会先 国立大学法人茨城大学  
財務部財務課財務グループ  
TEL:029-228-8806 E-Mail:sk\_yosan@ml.ibaraki.ac.jp

---